

外国につながる子どもの日本語サポート研修

子どもの日本語指導に携わる皆さん、日本語初期指導について改めて考えてみませんか。

この研修では、日本語指導プログラムの「サバイバル日本語」と「日本語基礎」を「初期指導」と位置づけ、実際の指導の様子から、子どものことばの力をどう見取るか考えます。

日 程：8月22日（土）、8月29日（土）、9月5日（土） 10時～12時 ※ 単発参加も可能です

会 場：信州大学 松本キャンパス 第2講義棟51番教室（松本市旭3丁目1-1） [各回共通]

対 象：長野県内の小・中学校で日本語学習支援に携わる方（教職員含む）

参加費：無料 定 員：40名

講 師：栗林 恭子（文化庁（現・文部科学省）「子どものための日本語教育研修・初任」2021年度、2025年度講師／松本市子ども日本語教育センター・コーディネーター）

西尾 淳（松本市子ども日本語教育センター・コーディネーター）

第1回 8月22日（土）10時～12時

ことばの“土壌と根っこを作る”

- ・コミュニケーションの第一歩
…「サバイバル日本語」
- ・子どもの持っている力を生かして、
伝える、伝わるうれしさを！！

第2回 8月29日（土）10時～12時

ことばの“幹を太くする”

- ・学校生活を送る上で必須！
…「日本語基礎」
- ・子どもの生活と学習を日本語指導から
切り離さない。

第3回 9月5日（土）10時～12時

ことばの“枝葉もしっかり育てる”

- ・日本語基礎の段階でもできる
…「教科につながる日本語」へ
- ・教科学習の中に日本語学習を埋め込む
—初期指導をしっかり積んだ子どもの例

「早く学年の勉強に追いつかせたい！」「日本語よりも教科の勉強を！」その気持ちはよくわかります。でも、幹（ことばの力）が細い木に豊かな実（教科の力）はなりません。教科学習も意識しながら、子どものことばの力を正しく見取り、何をどう指導していくか。「初期指導」と「子どものことばの力」を一緒に考えてみませんか？

※講座プログラム例：動画視聴と分析、ワークショップ

お申込み・お問い合わせはこちら



メール（お問合せ専用）

ctntabunka.info@gmail.com



申込フォーム

<https://forms.gle/YWAgK79fzMbVEDGy7>

申込×切 8月8日（土）

※申込多数の場合、抽選となります。

